



24-25 March 2018
The 25th Annual Meeting of
Excavations in West Asia



テル・レヘシュのシナゴグ出入口(イスラエル)



ダハシュール北遺跡シャフト137出土石灰岩製ステラ片(エジプト)



ワーディー・アッサイル古墳群WS-04号墓(バハレーン)

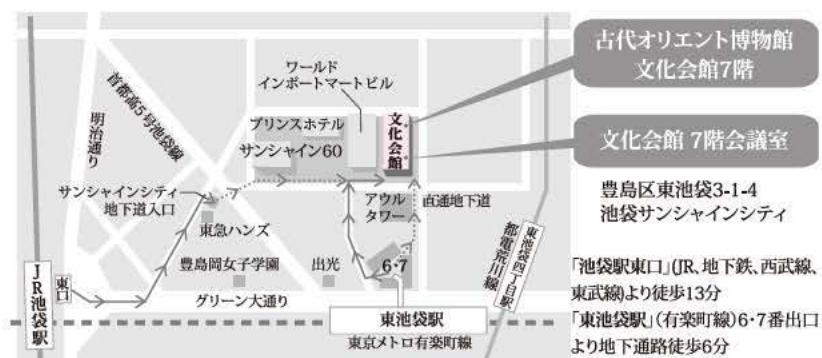
第25回 考古学が語る古代オリエント 西アジア発掘調査報告会 —2017年度発掘調査の速報—

2018年3月24日(土)・25日(日)

主催: 日本西アジア考古学会・古代オリエント博物館

後援: 国士舘大学イラク古代文化研究所・日本考古学協会・早稲田大学エジプト学研究所

会場: 池袋サンシャインシティ文化会館 7階会議室705室



古代オリエント博物館
文化会館7階

文化会館 7階会議室

豊島区東池袋3-1-4
池袋サンシャインシティ

「池袋駅東口」(JR、地下鉄、西武線、東武線)より徒歩13分
「東池袋駅」(有楽町線)6・7番出口より地下通路徒歩6分

定員: 各日先着150名(事前申込不要)

※座席数に限りがあり、立席になる場合もございます。あらかじめご了承ください。

参加費: 1,000円(資料代含む)

※ただし日本西アジア考古学会会員および古代オリエント博物館友の会会員は500円。

※参加費は「両日参加」「1日のみ参加」でわかりません。

参加者は当日に限り古代オリエント博物館入館無料

※報告会当日、上記資料を受付でご呈示ください。

「クローズアップ展: ブルガリア発掘調査の25年」

開催中[2018年2月10日(土)～3月25日(日)]

※開館時間: 10:00～17:00 (入館は16:30まで)



ノラヴァン2遺跡(アルメニア)

第25回 西アジア発掘調査報告会 プログラム

※発表者が複数の場合も1名(団長、会員等)のみが記載されています。また、当日発表する方とは一致しない場合もあります。

発表順などは変更されることがあります。日本西アジア考古学会 検索
最新情報はウェブページでご確認ください。 http://jswaa.org

2018年3月24日(土)	2018年3月25日(日)
10:00-10:30 開場・受付 10:30-10:40 開会の辞	10:00-10:30 開場・受付
クルディスタンの調査	アラビア半島の調査
10:40-11:05 報告① 肥沃な三日月地帯東部の新石器化 —イラク・クルディスタン、スレマニ地域チャルモ遺跡・トゥルカカ遺跡の調査(2017年)— 筑波大学人文社会系教授 常木 晃	10:30-10:55 報告⑮ 古代ディルムン王国の起源を求めて —バハレーン、ワーディー・アッ=サイル考古学プロジェクト2017— 東京文化財研究所研究員 安倍 雅史
11:05-11:30 報告② 新石器化と都市化のはざま —イラク・クルディスタン、シャイフ・マリフ遺跡の予備調査(2012~17年)— 東京大学総合研究博物館特任助教 小高 敬寛	10:55-11:20 報告⑯ アル・カーンの発掘 2017年 —アラビア半島の近世漁村— 金沢大学名誉教授 佐々木 達夫
11:30-11:55 報告③ アッシリア帝国東部境界を掘る —イラク・クルディスタン、ヤシン・テペ考古学プロジェクト:第2次(2017年)— 中部大学人文学部准教授 西山 伸一	11:20-11:45 報告⑰ バハレーンで古墳を掘る —バハレーン、マカバ古墳群第1号墳第一次調査2016-2017— 奈良県立橿原考古学研究所技術アドバイザー 西藤 清秀
11:55-13:00 昼食休憩	11:45-13:00 昼食休憩
コーカサスとアナトリアの調査	13:00-13:25 報告⑱ サウジアラビア紅海沿岸第1次踏査(2017) —ハウラー遺跡とその後背地— 早稲田大学総合研究機構客員教授 長谷川 奏
13:00-13:25 報告④ 南コーカサス地方の新石器時代 —第10次発掘調査(2017年)— 東京大学教授 西秋 良宏	エジプトの調査
13:25-13:50 報告⑤ 初期定住集落の姿を探る —トルコ、ハッサンケイフ・ホユック遺跡第5次調査(2017年)— 筑波大学人文社会系教授 三宅 裕	13:25-13:50 報告⑲ 王朝成立直前の専門化の発展 —エジプト、ヒエラコンポリス遺跡HK11C地区の発掘調査— 早稲田大学高等研究所准教授 馬場 匡浩
13:50-14:15 報告⑥ アルメニアにおける先史文化の系譜を探る —アルマヴィル地域における発掘調査(2017年)— 東海大学文学部歴史学科考古学専攻准教授 有村 誠	13:50-14:15 報告⑳ ギザのピラミッドにおける3次元計測調査 —エジプト、クフ王の大ピラミッド頂上部のUAV-SFM調査(2016-17年度)— 名古屋大学共同研究員 河江 肖剩
14:15-14:40 報告⑦ 中央アナトリアにおける銅石器時代解明へ向けて —キュルテペ遺跡北トレンチ発掘調査2017年— ノートルダム清心女子大学教授 紺谷 亮一	14:15-14:40 報告㉑ 紀元前2千年紀エジプトの葬制の変遷を探る —ダハシュール北遺跡第24次調査(2017)— 東日本国際大学エジプト考古学研究所客員准教授 矢澤 健
14:40-14:50 休憩	14:40-14:50 休憩
レヴァントの調査	14:50-15:15 報告㉒ エジプト、サッカー遺跡の新王国時代の墓地を探る —北サッカー遺跡第3次調査(2017)概報— 金沢大学新学術創成研究機構准教授 河合 望
14:50-15:15 報告⑧ ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態 —南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査(2017年)— 名古屋大学博物館講師 門脇 誠二	15:15-15:40 報告㉓ アル=コーカ地区出土の葬送用コーン —エジプト、アル=コーカ地区第10次調査(2016-17)— ※チラシで副題が間違っていました。訂正してお詫びいたします。 早稲田大学文学学術院・早稲田大学エジプト学研究所教授 近藤 二郎
15:15-15:40 報告⑨ レヴァント回廊の歴史を探る —レバノン、ベカー高原南部考古学踏査プロジェクト:第3次(2017年)— 中部大学人文学部准教授 西山 伸一	15:40-16:05 報告㉔ エジプト西方デルタ・イドゥック湖南域の考古学調査(2017) —コム・アル=ディバーウ遺跡北丘陵の探査— 早稲田大学総合研究機構客員教授 長谷川 奏
15:40-16:05 報告⑩ ガリラヤ最初期のシナゴグを掘る —イスラエル国テル・レヘシュ第11次発掘調査(2017年)— 天理大学文学部教授 桑原 久男	16:05 閉会の辞・閉会
16:05-16:30 報告⑪ パレスチナにおける十字軍期の農業集落 —パレスチナ自治区ベイティン遺跡第6次考古学的調査(2017年度)— 慶應義塾大学文学部教授 杉本 智俊	ポスター展示 (3/24-25) ※口頭発表はありません。報告集(資料)には掲載されます。
16:30-16:40 休憩	ポスター① ヨルダン南部ジャフル盆地の遊牧化 —ハラアト・ジュハイラ遺跡群の第3~4次発掘調査(2017年)— 金沢大学歴史言語文化学系教授 藤井 純夫
中央アジアの調査	ポスター② アラビア半島の遊牧化 —ワディ・ムハラック、ワディ・グハイラ遺跡群の第1,2次発掘調査(2017年)— 金沢大学歴史言語文化学系教授 藤井 純夫
16:40-17:05 報告⑫ 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 —第5次ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2017年)— 東京大学教授 西秋 良宏	懇親会について 3/24(土)18:30~20:30 事前申込、事前振込をお願いいたします。
17:05-17:30 報告⑬ ウズベキスタン、カフィル・カラ遺跡のシタデルを覆う火災層 —日本・ウズベキスタン調査隊の発掘調査(2017年)— 京都大学文学研究科博士後期課程 ベグマトフ・アリシエル	会場 池袋サンシャインシティ アルパ3階 アジオ(AGIO) (専門店街アルパは報告会会場の文化会館ビルとB1・1Fで連絡しています。)
17:30-17:55 報告⑭ 中央アジア、シルクロード拠点都市の成立とその展開 —キルギス共和国、アク・ベシム(スイヤブ)遺跡の調査(2017年度)— 帝京大学文化財研究所教授 山内 和也	申込先 : e-mail: konshinkai@orientmuseum.com または Fax: 03-3590-3266 「3/24懇親会参加」と明記し、お名前をお知らせください。申込締切: 3/22(木)
17:55 1日目終了	会費 : 5,000円(学生4,000円)。事前にお振込ください。振込期限: 3/22(木) 3/23以降の振込、または当日支払いは上記金額プラス1,000円となります。
18:30-20:30 懇親会	振込先 : みずほ銀行 池袋支店(店番号230) 普通 2197205 西アジア発掘調査報告会(ニシアジアハツクツチヨウサホウコクカイ) 振込人名は申込者の名前をご記入ください。振込手数料はご負担いただきますようお願い申し上げます。欠席の場合、懇親会費の返金はできません。

お問い合わせ

※報告会の内容について: 日本西アジア考古学会 E-mail: office@jswaa.org または Fax: 029-853-4432
※会場アクセスについて: 古代オリエント博物館 Tel: 03-3989-3491